

授業科目 臨床化学 II

【担当教員名】 土屋 康雄		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GI0】 各種疾患の診断や予後の判定などに必要な情報を提供するために、生体試料中に含まれる成分の測定方法や結果の解釈を理解し、生物化学的分析の理論と実際を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 臨床化学検査における基本的な項目の分析方法を説明できる。 2 検査値の臨床的意義を説明できる。 3 機能検査の方法や結果の解釈について説明できる。 4 臓器別に機能評価の方法とその病態について簡単に説明できる。 5 検査結果の解析・評価が疾患別に説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	酵素；乳酸脱水素酵素、アルカリフォスファターゼ			1-2	講義
2	酵素；γグルタミルトランスフェラーゼ、コリンエステラーゼ			1-2	講義
3	酵素；アミラーゼ、クレアチンキナーゼ			1-2	講義
4	電解質；ナトリウム、カリウム、クロール			1-2	講義
5	微量元素；カルシウム、無機りん			1-2	講義
6	微量元素；マグネシウム、鉄他			1-2	講義
7	ホルモン、血中薬物			1-2	講義
8	動的機能検査法			3	講義
9	臓器別機能評価と病態—肝胆道、消化器			4	講義
10	" 一心・循環器機能、腎機能			4	講義
11	" 一内分泌、酸・塩基平衡			4	講義
12	" 一骨代謝機能、炎症			4	講義
13	" 一腫瘍マーカー、栄養状態			4	講義
14	" 一薬物モニタリング			4	講義
15	検査結果の解釈・評価			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床化学検査学	浦山 修 他	医歯薬出版	2010・5,880円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験			【履修上の留意点】		